

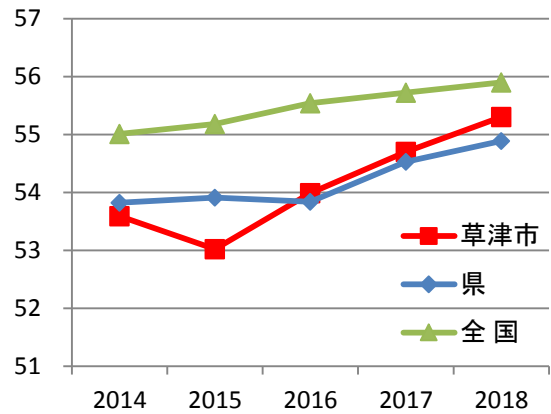
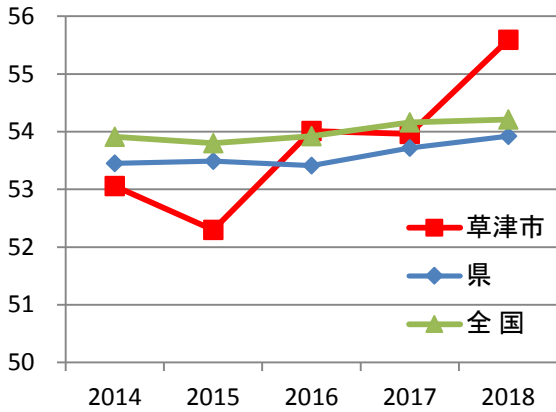
2 平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

小学5年生

男子

体力合計点の平均値(点)

女子



■平成30年度小学生の結果概要

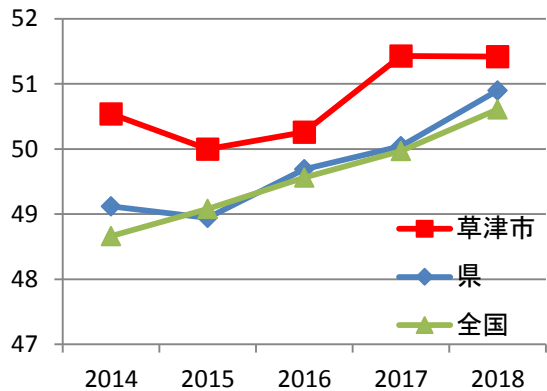
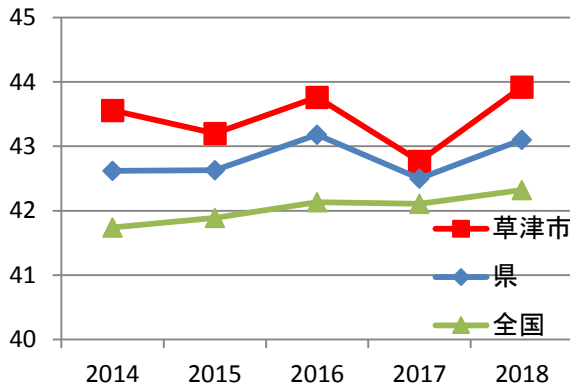
- (男子)**
- 全8種目の内7種目において上昇し、県・全国平均値より高い。特に反復横とび(敏捷性)とソフトボール投げ(巧緻性・瞬発力)が上昇した。
 - 50m走スピードが昨年度に引き続き低下し、県・全国平均値とほぼ同等の値になった。
- (女子)**
- 立幅とび(瞬発力)において、県・全国平均値より高く、反復横とび(敏捷性)において大きく上昇し、県平均値に迫った。
 - 20mシャトルラン(全身持久力)において、県・全国平均値より低い。

中学2年生

男子

体力合計点の平均値(点)

女子



■平成30年度中学生の結果概要

- (男子)**
- 上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、反復横とび(敏捷性)、立幅とび(瞬発力)において、県・全国平均値より高く、20mシャトルラン・持久走(全身持久力)が大きく上昇し、県・全国平均値を上回った。
 - ハンドボール投げ(巧緻性・瞬発力)において、県・全国平均値より低い。
- (女子)**
- 上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)において、県・全国平均値を大きく上回った。
 - 握力、筋力、ハンドボール投げ(巧緻性・瞬発力)において、県・全国平均値より低い。

◎実技調査項目

- ・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・反復横とび ・20mシャトルラン ・50m走 ・立幅とび
- ・ソフトボール(ハンドボール)投げ (※中学校では、ハンドボール投げ)
- ・持久走 (男子1500m・女子1000m ※持久走は、中学生のみで20mシャトルランとの選択制)

子どもが輝く教育のまち～出会いと多様性～

知 「確かな学力」を育む教育

問題解決
のために
知識・技能を
活用する力

自ら課題を
見つけ、
考え、協力して
よりよいものを
創造する力

自ら学ぼうとする意欲と態度

伸び伸びと自分らしく

人のため社会のため

本市では、変化の激しい時代を、たくましく生きていくことができる児童生徒の育成をめざします。そのためには、情報化やグローバル化の進展等、今後の社会の変化を見据え、他者と協働しながら、新しい価値観を創造するための学力が必要となってきます。具体的には、「世の中の様々なことに興味や関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲と態度」を基盤にして、「学びによって得た知識・技能を問題解決のために活用する力」や「自ら課題を見つけ、考え、人と協力してよりよいものを創造する力」の育成を図ります。

各学校では、児童生徒の発達段階を踏まえ、教科（「特別の教科 道徳」を含む）・特別活動・総合的な学習の時間等のあらゆる教育活動をとおして、ICT機器の活用による協働型・双方向型への授業改善を推進し、児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるための教育内容・方法の一層の充実を図ります。「確かな学力」は、「知・徳・体」にわたる、児童生徒たちにつけたい「生きる力」のうちの「知」にあたる重要な部分であり、本プログラムの中心となるものです。しかし、学校においては、「徳」や「体」も重視してさまざまな教育活動を推進します。また、学校だけでなく、保護者・地域・関係機関等とも連携し、よりよい教育の展開を図っていきます。

徳

「豊かな感性」を育む教育

「豊かな感性」を育む教育を推進します。

- (1) 美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性
 - (2) 正義感や公正さを重んじる心
 - (3) 生命を大切に、人権を尊重するなどの基本的倫理観
 - (4) 他人を思いやる心や社会貢献の精神
 - (5) 自立心、自己抑制力、責任感
 - (6) 他者との共生や自分と異なるものへの寛容
- をめざして意図的・計画的・総合的に取り組んでいきます。

そのために

- (1) 自己存在感もてる学校、学年、学級をつくること
 - (2) 多様な教育活動を通して、豊かな感性や情操を育むこと
 - (3) 集団生活や他者とのかかわりを通して、自己を肯定的に受け止められる機会を持つこと
- を進めていきます。

体

「健康・体力」を育む教育

心も体も健康で、活動的に生きようとする子どもの姿を求め、各学校において保護者や地域と連携しながら、「健康・体力」を育む教育を推進していきます。

〈キーワード〉

「よりよい生活習慣の形成」
「運動好きの子どもを育成」

そのために、

- (1) 健康・安全についての理解を深め、自己ライフスキルを育むこと
 - (2) 運動本来の持つ魅力に迫る体育科の授業を充実すること
 - (3) 部活動や地域での遊びやスポーツについて促進すること
 - (4) 記録に挑戦し、力を競い合う場を提供・支援すること
 - (5) 健康教育や食育を推進すること
- を進めていきます。

子どもが輝く教育のまち 出会いと学びのまち くさつ

知・徳・体の力を
バランスよく伸ばす

1 学校教育の取組を充実させる

(1) 子どもの生きる力の育成

① 確かな学力の育成

自ら学び、考え、行動する力を身につけ、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の向上を目指します。

- ・「草津型アクティブ・ラーニング」による授業改善
- ・ICT機器を活用した授業の推進
- ・遠隔授業の実施 ICT情報モラル教育の実施
- ・小学校プログラミング教育の実施
- ・漢字検定・英語検定(GTEC)の実施
- ・英語教育の推進 国際教育の推進
- ・「夢・未来を抱くスペシャル授業in草津」の実施
- ・子どものつまずき発見・克服事業
- ・学習につまずく児童の早期把握・早期支援
- ・家庭学習の充実
- ・放課後・土曜日の学びの推進
- ・学校図書館の整備・充実
- ・"学習・情報センター"としての学校図書館の活用
- ・市立図書館との連携
- ・書評合戦「ビブリオバトル」の開催

② 豊かな心の育成

自分も他人も大切にする心、感動する心、郷土を愛する心を育みます。

- ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続
- ・道徳教育の推進
- ・人権教育の推進
- ・小中学校の連携した生徒指導の推進
- ・いじめをなくす取組の推進
- ・市いじめ問題対策連絡協議会の開催
- ・ふるさと意識を高める取組の推進

③ 健やかな体の育成

生涯にわたって、たくましく生きるために必要な健康や体力を養います。

- ・小中学校体力向上プロジェクトの推進
- ・「ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU」の実施
- ・運動部活動への支援の充実
- ・中学校給食実施に向けた準備
- ・学校給食センターとの連携
- ・食育の充実

(2) 一人ひとりに行き届く 細やかな支援体制の構築

子どもたちの多様なニーズに対応できる、幼児期から青年期までの切れ目のない支援体制を構築します。

特別な支援や配慮を必要とする子どもを支える教育の充実
 インクルーシブ教育の推進 学校のユニバーサルデザイン化
 適応指導教室 就学指導・相談 スクールソーシャルワーカーの活用 翻訳・通訳による支援

教育の質の向上のポイント

2 学校の教育力を高める

子どもたちが安心して学校生活を過ごすための教育環境と指導・支援体制の充実を図ります。

(1) 教職員の指導力向上

- ・職員研修講座の開催
- ・スキルアップアドバイザーによる指導
- ・草津市教育研究奨励事業
- ・草津市教職員教科等部会別研修会
- ・教育情報化リーダー養成研修
- ・学力向上マネジメント会議

(2) 学校経営の充実・向上

- ・学校経営管理研修会の開催
- ・コミュニティ・スクールくさつの推進
- ・「学校教育パイオニアスクールくさつ」の推進
- ・「チーム学校」による支援体制の構築
- ・市費教員や支援員による指導体制の充実
- ・学校問題サポートチーム会議の開催

(3) 教育環境の充実

① 学校施設の整備

- ・快適な学校施設
- ・地震に強い学校施設
- ・快適なトイレ環境
- ・教材共有ポータルサイトの活用
- ・学校ICT化のさらなる推進(ハード面・ソフト面)

② 地域人材の活用

- ・地域協働校の実施
- ・学生ボランティアの活用
- ・地域ボランティア等による学校支援の充実
- ・学習ボランティアの育成と活用

学校教育充実の土台

3 家庭・地域に豊かな学びを創る

学校・家庭・地域の連携協力のもと、それぞれの役割と責任を自覚し豊かな学びの共同体づくりを推進します。

教育に関する情報発信
 放課後・土曜日の学びの推進
 家庭学習の充実

コミュニティ・スクールくさつの推進
 地域協働校の実施
 学生ボランティアの活用
 学習ボランティアの育成と活用